

施策評価管理シート

施策体系	政 策	3	活力に満ちて暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	2	いきいきと働けるまちづくり	担当部局名	部局長名
	施 策	1	雇用創出	産業部	杉本 一徳

1. 施策の基本方針 Plan

○ 成長が見込まれる分野において、企業による施設の拡張を奨励するとともに、空き用地、空き施設等への誘致を図り、雇用創出につなげます。また、中小規模の事業立ち上げ、新事業の育成等のための創業支援を行い、多様な就業機会の確保を図ります。

○ 若者、女性、高齢者、障害者など多様な働き方を可能とする就業機会の確保を図り、生涯現役のまちづくりを推進します。

2. 現状と課題 Plan

名張市先端産業立地促進条例に基づく支援はH28で交付期間が満了したので、新たに交付対象となる企業の誘致についても検討が必要です。

起業・創業希望をもった若者が、自らのアイデアで起業・創業し、名張市での魅力ある暮らしの実現を図っています。

働きたくても働けない子育て世代への就業機会の提供の仕方が課題の一つでもあります。

○施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
働く意欲のある人にいきいきと働ける場が確保されていると思う市民の割合 (%)	目標	-	-	-	31.0	
	成果	27.4	26.7	29.9		69.4%
創業相談件数（件【延べ数】）	目標	-	-	-	340	
	成果	22	120	260		74.8%
シルバー人材センター就業実人員（人【延べ数】）	目標	-	-	-	3,830	
	成果	759	2,299	3,140		77.5%

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
名張市の産業基盤と雇用の拡大を図る誘致促進施策である、名張市先端産業立地促進条例は必要性が十分あり、新たに対象となる企業の誘致と掘り起こしを関係機関とともに進めていきます。	先端産業立地促進条例第3条の規定に基づき、新たに進出した企業に対し、1件の施設工場の指定を行った。
平成29年度にスタートした「名張市産業チャレンジ支援協議会」を中心に雇用創造協議会の築き上げた実績とバックデータを活用発展させ、あらゆる世代に就業機会を提供していきます。	名張市産業チャレンジ支援協議会が動き出し、H29年度は雇用数64人（内訳：子育て世代の就職支援30名、就職セミナー12名、新規創業者9名、高齢者の雇用13名）となり、設立の当初の目標に達した。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

H29年度より、名張市産業チャレンジ支援協議会が本格稼働し、企業支援や人材育成、農商工支援、雇用機会の確保等地域内での積極的な雇用創出、産業活動を支援したが、組織が立ち上げた4つの柱の内の一つ、「農商工へのチャレンジ支援」分野において、悪天候による野菜不足、野菜の高騰もあり、野菜等の直売所の売り上げが落ち込んでいる。

シルバー人材センターを取り巻く環境の中で、特に会員の高齢化に伴う就業機会の喪失と加齢を理由とした退会による会員減少が懸念される。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） Action

農商工へのチャレンジ支援の一環として、Webの活用や、パブリシティを活用した経費の掛からない広告集客戦略と、直売所に隣接した温浴施設とともに対面販売等のニュース性を持った事業展開で直売所の売り上げを伸ばすことで、就業機会を増やしていきます。

地域に高齢者が増えるということはシルバー人材センターの会員候補者も増加するという事実を見逃さず、会員確保に努められるよう積極的な支援を行います。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

現行通り施策の取組目標の達成に向け、各事業の推進を図ること。